

申請用紙

1. 申請校

学校長 記入欄 (英数字は半角で入力して下さい)

国公立	
学校名	
フリガナ	
英語名	
学校長名	(学校印)
フリガナ	
住所:郵便番号	
都道府県	
市区町村番地	
電話	
ファックス	
電子メール*1 (結果連絡先)	
過去に参加した 類するプログラ ム名	
指定校・受賞な ど	

*1 申請用紙を送信した電子メールアドレスへ結果を連絡します。複数のアドレスへ同報をご希望の場合は申請用紙の送信時にCCに入れてください。必要な連絡事項は、電子メールにて行います。電子メール未確認などに伴う連絡未着に関して、運営者は一切責任を負いません。

2. 推薦教員 (詳細は別紙)

姓名	
フリガナ	
ローマ字 (パスポート名)	

申請校名： 0

3. 学校として、ESD日米教員交流プログラムへの参加を希望するにあたり、以下の項目にそつて、具体的に記述して下さい。（スペースは自由にお使い下さい。不足する場合はフォーマットを変えずにページを追加して記載して下さい。）

<p>参加する目的： なぜ米国と交流したいのか、米国とのESDの交流を通して、どのような成果を期待するか。</p>	
<p>今後のESDカリキュラムの開発計画：日米交流を学校の教育活動にどう活かすか。</p>	
<p>ESDに関連する活動の実績（あれば） 【テーマ】</p>	
<p>ESDに関連する活動の実績（あれば） 【概要】</p>	

申請校名： 0

4. 推薦教員 (詳細)

教員 記入欄 (英数字は半角で入力して下さい)

姓名	0	(教員印)
フリガナ	0	
ローマ字 (パスポート名)	0	
性別 男/女		
生年月日		
年齢		
役職		
担当教科・領域 (教育委員会の方もご記入 ください)		
略歴 (現在は除 く)		
最終学歴		

5. プログラムに参加するにあたり、得たものをどのように日々のESD活動に反映したいか、本人の抱負を具体的に記述して下さい。(スペースは自由にお使い下さい。不足する場合は同フォーマットでページを追加して下さい)

<p>参加する目的： なぜ米国と交流 したいのか、米 国とのESDの交 流を通して、ど のような成果を 期待するか。</p>	
--	--

<p>今後のESDカリキュラムの開発計画：今回の米国との交流を通して進めたいプロジェクトとその理由、そのプロジェクトを通じてどのような教育的意義・成果が得られるかをなるべく具体的に記述してください。プロジェクト数は問いません。</p>	
---	--

6. ESD活動の中で特に関心の高い分野について、具体的な年数など本人の関わりを中心に、これまでと現在の実践、あるいは今後の実践予定を【テーマ】ごとに【概要】を記述して下さい。【分野】は環境、国際理解、エネルギー、食育、防災、世界遺産や地域の文化財など。その他、持続可能な社会の担い手作りに向けた教育を含みます。今後の実践予定については、本プログラムへの参加にあたり、「環境教育」「食育」に限ります（スペースは自由にお使い下さい。不足する場合は同フォーマットでページを追加して下さい）。

<p>関心分野 【分野】</p>	
<p>関心分野 【テーマ】</p>	

<p>関心分野 【概要】</p>	
----------------------	--

7. 本プログラムの合同会議は、「環境教育」および「食育」の2分野を中心に開催されます。いずれか関心が高い分野を以下に記載して下さい。

2	
---	--

8. 米国教員との持続的な交流のために、ICT（情報通信技術）を利用する予定です。これまでにICTを用いて国内外の学校と交流をした経験があれば具体的にお書きください。
例：FacebookなどのSNSの活用、メール送受信による画像、動画などのデータ共有・交換、ビデオ会議、Google Group, Google+などの利用

<p>ICTを用いた交流の経験</p>	
---------------------	--

申請校名： 0